

「本宮方式映画教室」「こころの山脈」「秋桜」…本宮は映画で満ちていた

回覧

2022年 第10回

カナリヤ 映画祭

入場
無料

車椅子の方、体の不自由な方へのサポートいたします。

10月2日(日)

9:40 開場

10:00 開演

10:10 『映画大好きポンポさん』

制作：日本 2021年作品 監督：平尾隆之 上映時間90分 アニメーション
《昼休憩 60分程》

12:40 『Infection Pilia』～悩まされる現代～

2022年作品 製作：本宮高等学校 チーム：NEXUS 上映時間10分

13:10 『夢』

2022年作品 製作：本宮高等学校 チーム：叶える 上映時間10分

13:20 こころの山脈DVD配布記念講演『こころの山脈』を生んだ本宮の映画文化

講演：新潟大学教授 柳沼宏寿
《休憩 10分程》

14:20 『こころの山脈』

1966年作品 制作：本宮方式映画製作の会 監督：吉村公三郎
出演：山岡久乃、宇野重吉、吉行和子 上映時間104分
《休憩 10分程》

16:20 『杜人』

制作：日本 2022年作品 監督：前田せつ子
上映時間101分 ドキュメンタリー

18:10 映画祭終了



会場

サンライズもとみや
本宮市本宮矢来39-1



『映画大好きポンポさん』



『こころの山脈』



『杜人』

カナリヤ映画祭10周年記念

映画『こころの山脈』DVD配布開始(10月2日より)

映画『こころの山脈』は本宮の市民が自ら制作した作品です。昭和30年代、子供たちに良質な映画を見せようとお母さんたちが中心になって行った本宮方式映画教室が実を結び、その活動の最終目標として自らが映画を制作するという無謀ともいえる行動の先に生まれたのが『こころの山脈』です。映画の撮影は本宮で行われ、出演している生徒は当時の本宮小学校生、町民も多数エキストラとして出演。映画の企画、資金集め、撮影の補助などを、お母さんたち中心で行いました。懐かしい本宮の風景、人々をぜひご覧ください。



＜配布ご希望の方＞

- ・[NPO法人 本宮の映画文化を継承する会]へ1口2,000円のご寄付に対してDVD1枚をお渡します。
- ・申し込みはカナリヤ映画祭当日、阿部写真館(電話0243-34-2175)、右QRコードからお願いします。
- ・お渡しはカナリヤ映画祭当日、阿部写真館、郵送など。



[主 催] カナリヤ映画祭実行委員会、NPO法人 本宮の映画文化を継承する会

[共 催] 本宮市教育委員会

[協 賛] 株式会社マインド、青木フルーツHD株式会社、東北病院・まゆみの里、株式会社関建設、株式会社渡辺孫六商店、株式会社武藤建設、株式会社レックス、田村屋本店、石橋建設工業株式会社、本宮ロータリークラブ、太陽鉱油(株)、有限会社 真島・建築設計事務所

[後 援] 本宮方式映画制作の会、阿部写真館、FM Mot.com、有限会社本田印刷

[協 力] あじさい読書会 福島県立本宮高等学校

[連絡先] 阿部写真館 TEL.0243-34-2175

2022年 第10回カナリヤ映画祭開催についてのご挨拶

カナリヤ映画祭も10回目を迎えました。良質の映画を子供たちにみせようと始まった本宮方式映画教室、その先人たちの思いを継承したいと続けてきました。ここ2年は新型コロナの影響と社会の変化で参加者が激減していますが、今こそ集い話す場が必要と思っています。今年は10周年記念として、映画『こころの山脈』DVDの配布を行います。先人たちの熱い思いとエネルギーが詰め込まれたこの映画が今、みなさんに少しでも役に立てればと思っています。

本宮の映画文化を継承する会 代表 本田 裕之

《上映作品紹介》

『映画大好きポンポさん』

制作：2021年/日本/90分/アニメーション 監督：平尾隆之

出演(声)：(ジーン)清水尋也 (ポンポさん)小原好美

映画プロデューサーの孫で自身もその才能を受け継いだポンポさんのもとで、製作アシスタントを務める映画通の青年ジーン。映画を撮ることに憧れながらも自分には無理だと諦めかけていたが、ポンポさんに15秒CMの制作を任せられ、映画づくりの楽しさを知る。ある日、ジーンはポンポさんから新作映画「MEISTER」の脚本を渡される。伝説の俳優マーティンの復帰作でもあるその映画に監督として指名されたのは、なんとジーンだった。ポンポさんの目にとまった新人女優ナタリーをヒロインに迎え、波乱万丈の撮影がスタートするが……。

『こころの山脈』

制作：1965年/本宮方式映画製作の会製作/104分 監督：吉村公三郎

出演者：山岡久乃、宇野重吉、吉行和子、殿山泰司、奈良岡朋子、本宮小学校生徒、本宮町民他

代用教員として久しぶりに教壇に立った秀代(山岡久乃)、元気な子供たちの中に家庭問題のために周りの子供たちと衝突している清に出会い、何とか清と心を通わせ助けたいと思い頑張るのだが、短期間のみの代用教員としての立場や教育者として各子供たちにどのように向き合うことが正しいのか悩む日々が続く。

昭和40年に本宮町民の手で制作された記念すべき作品。

『こころの山脈』を生んだ本宮の映画文化

映画“こころの山脈”は、福島県本宮町立本宮小学校のPTAや教師らによる「本宮方式映画製作の会」が近代映画協会の協力を得て1966年(昭和41年)に製作されました。本講演では、本宮の文化を下支えしてきた母親の存在、そして子どもたちによる映画文化継承に焦点を当てます。

柳沼 宏寿(やぎぬま ひろとし)

1961年福島県郡山市生まれ。現在、新潟大学教育学部教授。新潟大学教育学部附属新潟中学校校長(2016-17)。

著書・論文等「ヴァルネラピリティからレジリエンスへの映像メディア表現～本宮方式映画教室運に見る地域創生力～」(大学美術教育学会)、『教育芸術として立ち上げる総合学習』第50回読売教育賞(読売新聞社)、『認知的方略の自覚化を通じた美術教育』第35回教育美術賞(財団法人教育美術振興会)他。

『杜人』

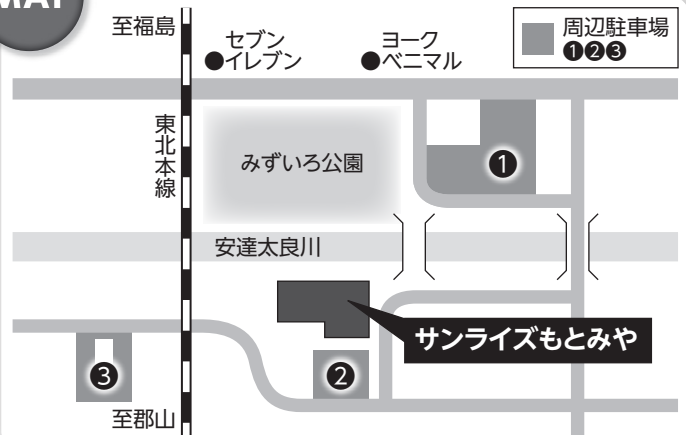
制作：2022年/日本/ドキュメンタリー/101分 監督：前田せつ子

人間よりも自然に従うという理念を持つ、造園家で環境再生医の矢野智徳を追ったドキュメンタリー。30年以上のキャリアを持つ造園家であり、環境再生医の矢野智徳は、時に「地球のお医者さん」とも呼ばれ、全国を飛び回り傷んだ植物や大地の治療にあたっている。造園業界や現代土木の世界、学術界でも見落とされてきた生態系全体に関わる大地の機能を、矢野は「大地の呼吸」だと言う。業界では変わり者と呼ばれながらも、環境改善のやり方を実践し、伝えてきた矢野の活動は東日本大震災をきっかけに共鳴する人が増えていく。

■新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご来館の際にご協力をお願いしております。

- 咳エチケットのため「マスク着用」をお願いします。
- 入館の際に、手指の消毒と体温確認をお願いしています。
- 発熱、咳などの症状がある方は、ご入場をお断りしています。
- 万が一の感染者発生に備え、お名前ご連絡先等のご記入をお願いします。

MAP



「本宮の映画文化を継承する会」への募金、入会をお願いしております。
ご協力いただける方は右記まで、お気軽にご連絡ください。

【事務局】 阿部写真館
TEL.0243-34-2175